

「第1回TRIZシンポジウム」講演発表などの募集について

2005年3月18日

日本TRIZ協議会

第1回TRIZシンポジウム

プログラム委員長

中川 徹 (大阪学院大学)

[一部訂正：2005.3.23 中川 徹]

創造的な技術革新の技法「TRIZ」について、広く発表・討論・交流するために、このたび、「日本TRIZ協議会」が主催して、表記のシンポジウムを開催いたします。つきましては、講演その他の発表を下記のように公募いたしますので、どうぞ積極的にご応募くださいますようお願いいたします。

記

1. 第1回TRIZシンポジウムの概要

日時： 2005年9月1日(木)午後～3日(土)午後 [2日半]

会場： ラフォーレ修善寺 (静岡県伊豆市)

<http://www.laforet.co.jp/lfhotels/szk/>

〒410-2415 静岡県伊豆市大平 1529 TEL : 0558-72-3311

主催： 日本TRIZ協議会

趣旨： 創造的な技術革新の技法「TRIZ」とその関連分野の普及・推進を図る。

TRIZ (その関連分野を含む (以下同様)) に関心をもつ人々 (企業・学校・その他のユーザ、研究者、教育関係者、公益団体関係者、ツール開発・提供者、出版関係者、コンサルタント、その他) が一堂に会する場を提供する。

TRIZの理解、研究、適用、普及、推進、開発を進める。

TRIZとその関連分野との積極的な交流・融合を図る。

発表・討論・展示・交流などの機会をつくる。

泊まり込みで、公式・非公式の情報交換を密にして、相互協力の人脈をつくる。

発表内容は公開とし、当日配布資料だけでなく、後日 Web 上などで公開する。

日本だけでなく、海外との情報交換を行い、情報発信を図る。

(海外からの英語での発表も受け付ける。通訳なしの予定。)

形態： 基調講演、一般発表、ポスター発表、展示、討論、グループ討論などを行う。

開催規模： 発表 20 件前後。参加者 100 名程度 (想定)

2. 一般発表の募集要項

テーマ: 上記のシンポジウムの趣旨に沿った、オリジナルな研究・活動報告。

つぎのような範囲で考えて下さい。(この他にもあれば検討します。)

特に、実地の適用事例・活動事例に基づいた発表をお願いします。

技法など	適用目的	適用分野	適用場面
TRIZ TRIZからの派生・発展 創造性技法、 アイデア生成法、 問題抽出技法、 問題解決技法、 将来予測技法、 技術革新技法・運動、 技術管理、知識管理、 研究開発技法 特許生成・特許分析、 技術の実装技法、 問題解決支援システム、 日本独自の諸方法 など	技術予測・市場予測、 問題抽出、 商品企画開発、 技術課題の解決、 技術コンセプトの生成、 品質向上、 コスト・納期削減、 特許発掘、特許強化、 ビジネスモデルの創成、 技法の検証、 など	一般技術分野 機械・機構系、 電気・電子系、 システム系、 ソフトウェア系、 材料系、 化学系、 生物系、 ビジネス系、 社会問題、 その他	大学等教育、 技術者教育、 普及・啓蒙、 適用試行、 グループ活動、 実地適用、 推進組織化、 推進活動、 管理者教育、 中小企業普及、 初等中等教育、 など

発表形態: 基本発表時間: 発表 30 分 + 質疑応答 10 分。

シングルトラック (1 会場)

(a) 発表の申込み:

必要事項 (1): 発表題目、著者 (所属)、著者代表連絡先、

200 字程度の概要、説明文 (図表も可)、全体で A4 の 1 頁。

[注: 書式見本別紙参照、

題目・著者・概要はプログラムに掲載する。

説明文は (この時点では) プログラムの審査・編成用。]

必要事項 (2): 英文の発表題目、著者 (所属)

[注: 書式見本別紙参照。英文でのプログラム案に掲載するため。]

申込・問い合わせ先: プログラム委員長: 中川 徹 (大阪学院大学)

送付方法: 電子メールで文書添付 (MS Word) nakagawa@utc.osaka-gu.ac.jp

申込み締め切り: 2005 年 5 月 13 日 (金)

(b) プログラムの決定と著者への通知

採否決定: 発表の採否とプログラム案の決定は、5月下旬に日本TRIZ協会プログラム委員会で行います。

申込みが多数の場合にはポスターセッションでの発表への変更や、不採用などの判断をいたします。ご了承下さい。

著者への通知: 発表の採否およびプログラム案を、5月末日までに通知します。採用された著者は指示に従って、原稿を次項のように準備下さい。

(c) 発表資料の提出:

必要事項(1): 発表題目、著者(所属)、著者代表連絡先、200字程度の概要、説明文(図表も可)。全体でA4の1頁。

書式は申込み時のものと同じ。推敲可。[印刷・Web公表用]

必要事項(2): 英文の発表題目、著者(所属)、概要(上記概要の英訳)。

書式は申込み時のものと同様。上記(1)とは別紙のこと。

[英文プログラムとして、当日海外参加者に配布、後日Web公表]

必要事項(3): 印刷配布用スライド(基本は発表スライドと同じもの)

[PowerPointファイルなど。]

送付方法: 電子メールに添付して送付。MS Word, PowerPoint ファイルなど。

送付先: 印刷担当: 水野栄一 (MRI システムズ) mizuno@mrिसys.co.jp

締め切り: 8月10日(水)

(d) 発表などに対する著作権の扱いについて

前提事項: 発表申込みおよび発表資料の提出時点において、発表者はその内容が他者の著作権などを侵害していないことを確認し、また社内の発表許可などを経ているものとします。

発表時期: 発表資料の公表時点は9月1日とします。

著作権: 発表資料の著作権は、著作者本人にあるものとします。

よって、著者はTRIZシンポジウムの後に、自分が適当と考える方法で、他に投稿・発表などができます。

発表者は、以下の事項に対して「日本TRIZ協会」に非排他的な権利を譲渡するものとします。

- ・「第1回TRIZシンポジウム」での当日配布資料に印刷し、配布すること。
- ・また、その資料の複製を後日配布・販売すること。
- ・日本TRIZ協会が適切と考えるWebサイト(複数可)で後日公開すること。

- ・ 日本TRIZ協議会が適切と考える出版物、配布物などに掲載して、配布販売すること。
- ・ 発表の写真撮影・録音・ビデオ撮影などを許可し、それらを日本TRIZ協議会が適切と考える方法で、掲載、配布、案内資料などに使うこと。

[注: 録音とビデオ撮影は、個別に許諾／非許諾をお聞きます。]

3. その他の募集:

(a) ポスターセッションでの発表:

発表申込みが多い場合、また、小規模な発表を希望する人が複数ある場合に開催を検討します。

例えば、**60～90**分程度の時間枠をつくり、複数のブースで発表資料を展示して、各発表者が待機して説明します。

最初からこの形式を希望する場合は、上記一般発表と同じ形式で申込みの上、「ポスターセッション希望」と明記して下さい。

(b) ツールのデモ、書籍展示、コンサルティング案内など

希望の方は、希望する内容・形式・時間／場所の希望などを、適当な文書にして、電子メールで申込み下さい。

申込み先: 総合運営担当: 三原祐治 (富士フイルム) mihara@ffhd.fujifilm.co.jp

(c) 討論テーマ／問題提起:

趣旨: 午後または夕食後の時間などに、半公式、非公式のグループ討論を行うことを検討しております。テーマ／問題提起など希望を連絡下さい。

必要事項: テーマ名称、趣旨 (200字程度)、発案者、賛同者 (もしあれば)

申込先: プログラム委員長: 中川 徹 (大阪学院大学)

nakagawa@utc.osaka-gu.ac.jp

(d) その他、内容・形態などで、提案・意見がありましたら、ご連絡下さい。

連絡先: プログラム委員長: 中川 徹 (大阪学院大学)

nakagawa@utc.osaka-gu.ac.jp

以上